

令和八年度

文学部 歴史学科

学校推薦型選抜 小論文

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所縦書きで記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子は、問題（二頁）および解答用紙（一枚）からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 試験時間中の退室は認めない。
- 8 問題は持ち帰ること。

【設問】

次の文章を読んで、歴史における宗教と政治との結びつきについて、具体例をあげながら八〇〇字以内で論じなさい。なお、句読点やカッコ、数字はそれぞれ一字として数える。(配点 一〇〇点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

加藤喜之著「分極化する現代世界——米国、欧州、イスラエルからみる政治と宗教」(大西信行・佐藤雄基編『日本史を宗教で読みなおす』山川出版社、二〇二五年)。なお引用にあたり一部の表記を改めたところがある。

(*) AfD: ドイツの政党「ドイツのための選択肢」(Alternative für Deutschland)の略称。